

# 全国大会の感想

青森商研

# NEWS

令和8年度秋号

R 8. 1 0. 2 3

青森県高等学校商業教育研究会

研究誌編集委員会 発行

編集者 鯨ヶ沢高等学校

青森商業高等学校

奈良 靖宏  
下田 幸大  
梶 晃太

第38回 全国高等学校

情報処理競技大会 (7月25日)

今年度も全国大会において、商業高校生たちが素晴らしい成果を収めました。日頃から積み重ねてきた努力と練習の成果を存分に発揮し、各大会で目覚ましい活躍を見せてくれた生徒の皆さんに心から拍手を送ります。

今号の商研ニュースでは、全国大会、東北大会に出場し活躍した各高校の代表生徒から、競技の様子や大会を通して得た経験について報告していただきます。

さらに全国高等学校総合体育大会、インターシップ・職場体験での学び、そして商品開発で生徒たちが生み出した新しいアイデアと成果についても紹介しています。

第42回 全国高等学校

簿記競技大会 (7月24日)

三沢商業高等学校 3年 須藤 輝

私たちは、千葉商科大学で行われた第42回全国高等学校簿記競技大会に参加しました。入賞はできませんでしたが、団体順位も個人順位も昨年度より順位を上げることができ、成長を感じることができた一方で、スピード不足という課題も残りました。成績上位者との差は間違いなくスピードでした。

簿記の知識だけでなく、競技としての技術を意識して、来年度の出場生徒にはこの課題を踏まえてよりよい結果を出せるように頑張つてほしいと思います。

【結果】団体26位



弘前実業高等学校 3年 佐々木 終哉

私たちは、第38回全国高等学校情報処理競技大会に出場しました。昨年以上の成績を目標としましたが、結果は、団体の部第22位でした。県予選会の後は、全国大会の過去問題を解きながら、ミスを減らし得点できるように練習しました。実際に、本番の問題に取り組んでみると、難易度が上がっており、時間配分も上手くいかず、完全解答できない問題があり、得点を重ねることが難しかったです。後輩には、今年の反省を生かして、来年も頑張つて欲しいと思います。

【結果】団体22位



第73回 全国高等学校

ワープロ競技大会 (7月29日)

三沢商業高等学校 3年 北向 陽太

私たちは、東京都浅草の産業貿易センター台東館で行われた第73回全国高等学校ワープロ競技大会に参加しました。残念ながら、団体優勝という目標は叶えられませんが、3年生最後にならぬように大きな舞台に立つことができて、とても嬉しかったです。

今大会に出場した2年生は自分達の課題を見つけ、チーム一丸で戦っていくことを大切にきて来年の全国大会で団体優勝できるよう頑張つてく

ださい。応援しています。

【結果】団体15位



第73回 全国高等学校

ビジネス計算競技大会 (8月4日)

三沢商業高等学校 3年 宮部 初音

私たちは全国ビジネス計算競技大会に出場し、珠算・電卓の両部門で第7位に入賞しました。残念ながら昨年の結果を上回ることができませんでしたが、全国大会という大きな舞台で全国の選手たちと競い合えたことはとても貴重な経験となりました。県大会とは違い、全国大会では選手のレベルも問題の難易度も高く、厳しさを感じました。その中でも自分たちが持っている力を最大限に発揮し、最後まで諦めずに取り組むことができました。この経験を今後の活動に生かしていきたいです。

【結果】珠算の部 団体第7位  
電卓の部 団体第7位



第43回 全国商業高等学校

英語スピーチコンテスト (9月13日)

【レシーションの部】

弘前実業高等学校 2年 石村 海陽

私は、今回初めて全国大会に出場して、非常に貴重な経験をすることができました。全国から集まった出場者のスピーチを聞いて、同じ題材でも表現の仕方がそれぞれ違い、とても刺激を受けました。また、全国という大きな舞台で発表したことで、緊張する場面でも最後までやりきることができたという自信にもつながりました。今回の経験をこれからの学校生活にも活かし、「最後までやりきること」を大切にしていきたいです。



【スピーチの部】

三沢商業高等学校 1年 小比類巻 妃那

今回のスピーチコンテストを通して、人前で自分の思いを伝えることの難しさを実感しました。自分自身も練習の成果を発揮することはできましたが、他の参加者の発音や表現力、表情管理、声の強弱などを聞き、上には上がいることを改めて感じました。私も改善できるところは沢山あるので、今回の経験で得た学びを今後の英語学習に生かし、更に表現力を高めていきたいです。



# 運動部の活躍

青森商研

# NEWS



令和8年度 全国高等学校総合体育大会

(7月22日～8月21日)

弘前実業高等学校 卓球部 3年 沼村 陸冬

私たちは8月13日から大阪府にて行われた全国高校総体に出場しました。結果としては学校対抗ベスト16、シングルス初戦敗退でした。52年ぶりの団体出場でベスト16に入れたことは今までで一番達成感を感じた瞬間であり、何よりも嬉しかったです。思い返すと苦しい時期が多い3年間でしたが、最後まで仲間と努力してきて良かったと思える大会でした。多くの方々に支えてもらったおかげで自分たちの力を出し切れたので感謝したいです。



青森商業高等学校 卓球部 3年 神 和花

私たちは、昨年に引き続き高校総体の学校対抗で優勝し、インターハイに出場しました。昨年は目標を達成することができず悔しい思いをしたので、今年は必ず1回戦を勝とうという目標を立てました。そのために暑い中での毎日の練習や日々の厳しいトレーニングに励みました。その結果、全員が一致団結し目標を達成することができたのでとても嬉しかったです。来年もインターハイに出場できるように後輩たちに頑張ってもらいたいです。



黒石高等学校 フェンシング部 3年 小野 優芽

私は8月9日から滋賀県で開催されたインターハイのフェンシング競技に出場しました。個人戦ではサーブルとフルーレに出場し、サーブルでは予選を突破して決勝トーナメントに進みましたが、1回戦で敗退しました。団体戦では4対4の同点で迎えた最終試合を競り勝ち、初戦突破を果たしました。全国の強豪選手との対戦を通して多くの課題と収穫を得ることができました。この経験を今後の国民スポーツ大会に生かしていきたいと思っています。



弘前実業高等学校 陸上競技部 3年 三上 顕斗

今回のインターハイでは、自分は初めて全国の舞台で決勝進出することができました。しかし、自分の力を発揮することができず入賞はできませんでした。とても悔しかったです。しかし、同じ投てきの友人が入賞し、またリレーで全国3位を取ったときはとても嬉しかったです。これまで、頑張ってきたことを出すことができなかったのはとても悔しかったです。この悔しさをバネに全国で活躍する選手に成長していこうと思います。



弘前実業高等学校 柔道部 3年 岡崎 唯菜

今年は個人、団体で出場しました。団体戦では去年の全国2位と対戦し、一人ひとりが粘り強い戦いをし、自分たちでもこんなに戦えるんだと知り次の日の個人戦に向けて自信ができました。個人戦では得意技の背負い投げで勝利し、2回戦では、積極的に技をかけ一回も折れることなく、4分間という長い時間を戦い抜くことができた3年間やってきたことを出しきり、悔いのない試合をし、インターハイを終えることができました。



下山学園高等学校 バレーボール部 3年 小野 優芽

今回インターハイに出場し、全国で戦うためには、今のままではまだ力不足であることを実感しました。同時に、「全国で戦えるチームになる」という新たな目標も明確になりました。全国大会の雰囲気を感じ、その舞台で実際にプレーできたことは、私たちのとってかけがえのない経験となりました。この経験をこれからの成長につなげ、次は下山学園らしさを発揮したプレーで、応援してくださる方々に恩返しができるように頑張りたいと思います。



## 商品開発紹介

八戸商業高等学校

商品内容「八戸産サバを使用したサバサンド」  
 テーマ「サバ、サンドにされる」  
 協力企業「サンドマニア」

私たちは、八戸の特産品であるサバの新しい食べ方を提案し、その魅力を広めるため、サンドマニアと連携してサバサンド「38(サバ)リッチ」を開発しました。サバをより手軽に味わってもらえる商品を目指し、サバに合う具材や味付けを考え、何度も試作を重ねました。完成した商品はイベントで販売し、実際にお客様に届ける経験を通して、商品開発から販売までの難しさや、企業との連携によって商品を生み出すことのやりがいを感じました。



# インターンシップ・職場体験

青森商研

# NEWS

## 三沢商業高等学校 1年 工藤 颯介

3日間のインターンシップを通して、接客態度や言葉遣い、そして自ら考えて行動する主体性の大切さを学びました。

ジョイム緑町店は本や文房具を中心にした店舗で、幅広い年代のお客様が来店されます。失礼のないよう、態度や挨拶を意識して仕事に取り組みましたが、作業に集中するあまり、来店時の挨拶を忘れてしまう場面がありました。目の前の仕事をこなしながら周囲にも気を配ることの難しさを痛感し、働くことの大変さを実感しました。ですが、忙しさの中にも楽しさを感じる仕事もありました。検品では、仕入れた商品の数が伝票と一致しているかを確認し、品出しでは、バーコードや商品のジャンルを手がかりに、商品を適切な棚へ並べました。どちらの作業も、やり終えたときの達成感が大きく、強く印象に残っています。

普段の生活では経験できない、貴重な3日間でした。ここで学んだことを、これからの学校生活に活かしていきたいと思っています。

## 青森商業高等学校 1年 福真 一華

私はインターンシップで、積極的に取り組むことを意識しました。実習先はパン製造工場ですが、初めは分からないことが多く緊張しましたが、教えていただいたことを覚え、分からないことは質問するよう心掛けました。作業の手順を確認し、ベルトコンベアの速さに合わせ、丁寧かつ正確に作業しました。今回の経験を通して、周りの方と協力し、責任を持って仕事をする大切さを学びました。今後の学校生活にも生かしていきたいです。

## 八戸商業高等学校 2年 酒田 有莉

株式会社フオリウムでの職場体験では、アンケートやレポートの作成、社会人としてのマナーについて学びました。苦勞しながらも、分かりやすいグラフを完成させることができ、大きな達成感を得るとともに、働くことの楽しさを実感しました。また、実習を通して、プロの仕事は「相手のため」にあることに気づき、相手の立場に立って、正確で丁寧に行動することの大切さを学びました。今回の貴重な経験を通して得た学びや自信を、相手の立場に立って行動したり、仲間と協力したりするなど、これからの学校生活に生かしていきたいです。

## 大間高等学校 2年 伊藤 鈴々

私は、大間観光土産センターでインターンシップを行い、接客やレジ打ち等を体験し、働く上で重要な2つを学びました。1つ目は笑顔で接客し、お客様を良い気持ちにさせること、2つ目は挨拶やおすすすめ商品の紹介を通して、お客様とのコミュニケーション・信頼を築くこと、恥ずかしさを克服して笑顔と挨拶を実践し、接客の楽しさを実感しました。今後も挨拶や人との対話を大切にし、この学びを学校生活に活かしていきたいです。

## 鯉ヶ沢高等学校 2年 千葉 麻美

私は、長谷川自然牧場でインターンシップを行いました。豚の餌やりや牧草や木の移動、肉巻きおにぎりやシュークリーム作りを体験しました。実際に体験してみても、スタッフさんだけでなく、動物とのコミュニケーションも豚や鶏のストレス対策のために大事だと感じました。動物の餌やりや繰り返しの体力仕事が続くので工夫や自己管理の大切さを実感しました。とても環境がよく、アットホームな雰囲気でしたが人が少ないため、負担が大きい箇所もあると思いました。2日間のインターンシップでは、多くのことを学ばせていただきました。今後の学びに活かしていきたいです。

# 東北大会の感想

## 第30回 東北六県高等学校 生徒商業研究発表大会 (8月22日)

## 三沢商業高等学校 3年 月館 翔太郎

東北生徒商業研究発表会では、他県のチームの発表を聞き、宝塚のような華やかな声や身振り、完成度の高いスライドなど、多くのことを学びました。

一方、私たちのチームは練習量が足りず、制限時間を超えてしまいました。また、本番では練習通りの発表をすることができず、悔しさも残りました。しかし、私自身、大きな舞台で発表することができたことは、とても貴重な経験になりました。

今回の経験を生かし、今後とも地域と連携した課題研究に積極的に取り組んでいきたいと思っています。そして、来年発表する後輩たちには、今回学んだことを生かして十分に練習し、優勝を目指して頑張ってください。



## 下山学園高等学校 3年 棟方 理央・安田 李菜

東北大会に参加するため、秋田県を訪れました。夏休み中も学校へ通って練習に励み、大会前日にも現地で入念に最終調整を行いました。当日は緊張もありましたが、いつもの成果を発揮できるよう全力を尽くしました。

しかし他県の発表を見ると、内容の工夫や伝え方のレベルが非常に高く、圧倒されました。今回の大会で得た学びを今後の活動に活かし、より素晴らしい発表を目指して、後輩たちにはこの情熱を引き継いでいってほしいと思います。

